

スタイルのある家に住む  
『ライヴズ』(隔月刊)

真似したくなる、リノベの最新アイデア集

# LIVES

LIVING & LIFESTYLE MAGAZINE

VOL.

107

OCTOBER  
NOVEMBER

2019

インテリアの達人たちの自宅を公開!  
ショップオーナー &  
スタッフの家と部屋

リノベのお金、  
物件の探し方  
まるわかり  
徹底解説!

最新

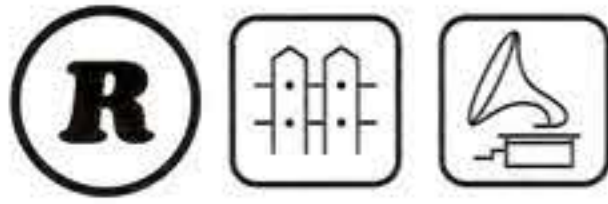
リノベーション  
カタログ

間取り、素材、  
インテリアスタイルetc…  
中古物件の磨き方、教えます!

RENOVATION CATALOGUE



リノベ不動産  
10



リノベ物件 専用庭 レトロ

最寄駅

登戸 (小田急小田原線・JR南武線)

小田急小田原線・JR南武線「登戸」駅より徒歩4分。徒歩1分の多摩川ではジョギングやサイクリングが楽しめるほか、夏は花火大会が開催される。

(別途共益費 5,000円)

賃料 198,000円 敷 1 礼 1

●竣工年月 1978年3月 / ●リノベーション年月 2019年8月 / ●リノベーション設計 Safari B Company ●主な設備 エアコン3基、照明器具、複層ガラス、シューズボックス、専用庭、光インターネット無料



物件名

JUNEBERRY

飛び石をあしらった玄関から障子の引き戸を開けると、L字型のカウンターに囲われた大型キッチンとリビング。西側の庭の中央にはジュンペリーの木が植えられている。南側には2室の居室、北側に水まわりが収まる。



81.06 m<sup>2</sup>

## “和と洋のアンティークが混じり合う”



photograph\_ Akira Nakamura, Noblue

多摩川のすぐそばに佇む築41年の木造2階建て賃貸住宅。一見、何の変哲もない住宅のようだが、扉の向こうには、古民家を思わせる懐かしい空間が広がっている。飛び石の間に玉砂利が敷き詰められた玄関は、上がり口に月見障子があり、さながら料亭のよう。障子の引き戸を開けると、LDKの中央にはバーを思わせる大きなカウンターのアメリカのウイスキー工場の構造材だった古材厚板を使った特注品で、下部はフランスのアン

ティークドアをカットして嵌め込んでいる。上部には洗いやブルーのタイルが絶妙なバランスで調和している。L字につながるキッチンは既存のもの。40年前でこれだけ大型というのはなんとも贅沢だ。照明は日本のものに加え、オーナーが買い付けてきたフランスやアメリカのアンティークものを多数設置。漆喰仕上げの壁や深みがあるオイルステイン塗装の無垢フローリングも味わい深い。

上・障子の掃き出し窓の先はジュンペリーが植えられた庭。緑が美しい。  
下・シンボリックなカウンターと和の佇まい。鮮やかな青いタイルがアクセント。